

お手入れのしかた

プロミスト PK-804S-EP3000 / PK-808S-EP6000

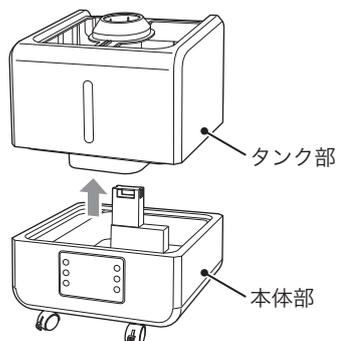
※本紙で使用しているイラストはPK-804S-EP3000です。お使いの機種により形状が異なる場合があります。

お手入れの前に

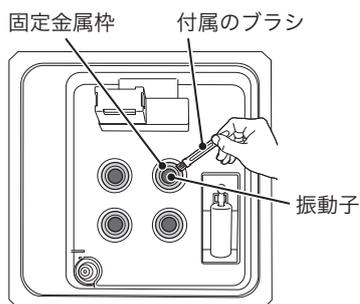
- △注意**
- ・お手入れをする前には電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
 - ・磨き粉、洗剤、ベンジル、アルコール、シンナーなどは使用しないでください。故障・変形・変色の原因になります。

振動子周辺とエア・フィルターのお手入れ（月に1回程度）

- 1** タンクカバーを取り外し、本体部からタンク部を取り外します。



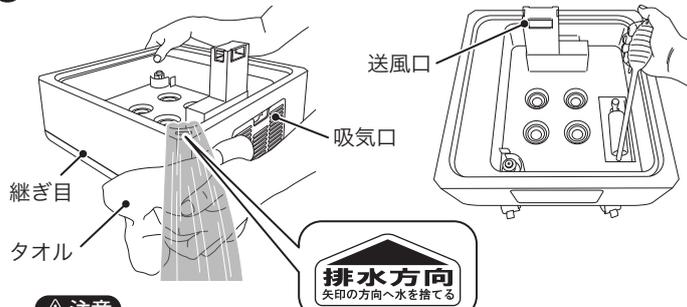
- 2** プール内に液剤が入っている状態で、付属のブラシを使用し、振動子と固定金属枠をなでるようにブラッシングします。



△注意

お手入れには、必ず付属のブラシをお使いください。ヤスリ、金属ブラシなどの固いものを使用すると振動子や固定金属枠が損傷する原因になります。

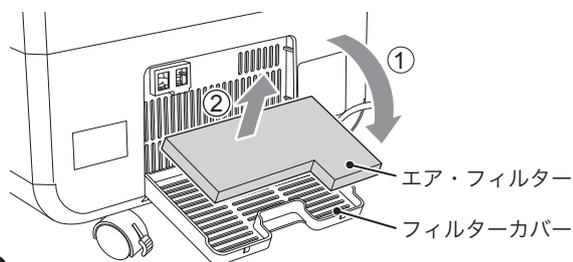
- 3** プール内の液剤を捨て、きれいな水でよくすすぎます。



△注意

- ・プール内の液剤は大きめのスポイトで取り出すか、本体部の排水方向から排水してください。
 - ・本体部の送風口・背面吸気口・下部本体の継ぎ目から液剤や水が入らないようご注意ください。
 - ・排水する際はタオルなどをあて、下部本体の継ぎ目に液剤が入らないようご注意ください。
- 内部に水が入ると故障の原因になります。

- 4** フィルターカバーを開き、エア・フィルターを取り外してから掃除機などで吸気口のほこりを取り除きます。

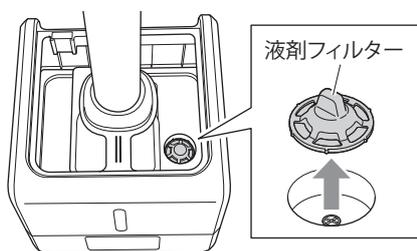


△注意

本器は、ほこりの多い場所で使用しないでください。ファンの故障の原因になることがあります。また、吸気口にほこりが詰まると、送風量が減少するほか、本体内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

タンクのお手入れ（液剤補充のときに）

次亜塩素酸水をご使用している場合、タンク内はほとんど汚れませんが、タンク内の液剤の増減により、液剤に浸かっていない時間が長い部分には汚れが付くことがあります。



※液剤フィルターは消耗品です。定期的に交換してください。

- 1** タンク内部の液剤フィルター上部つまみを持ち上げます。
- 2** 液剤フィルターに付着しているゴミなどを流水で洗い流します。
※液剤フィルター部は破れやすいので指などで直接触らないでください。
- 3** タンク送水パッキンに異物がついていないか確認して液剤フィルターを取り付けます。
- 4** 汚れなどがある場合はきれいな布等でふき取ります。

↓ 注意事項（裏面）も合わせてお読みください。